



新型インフルエンザ感染予防製品 「光触媒バイオトロンマスク」

バイオトロン製品販売代理店
メディカル・ファクトリー
Tel 093-621-8710
E-mail amon@k4.dion.ne.jp



Bio tron (バイオトロン) ?

ほとんど光を必要としないナノテク触媒の誕生

二酸化チタンとアパタイトの複合による世界最先端技術による
ナノテクノロジー触媒

特 徴

紫外線が届かないでも効果を発揮

水と触れる事により、洗浄力・殺菌力・除菌力・抗菌力を
発揮し、無害で取扱いが容易

殺菌力に優れていながらPHは7前後の中性で毒性もない
ので安全

配管等に悪影響（腐食）を与えず、環境に優しい



効果を進化させた新素材 アパタイトと二酸化チタンの複合体

一般に、二酸化チタンは紫外線の照射により酸化能力最強のOHラジカルが生じるため、有害な有機化学物質や細菌などを分解・除去する光触媒として、防汚・脱臭・抗菌材料をはじめ幅広い分野への応用が研究されてきました。

しかし、二酸化チタン単体では樹脂や塗料などの有機物に混合すると母材やバインダーも分解してしまう吸着作用が無いため大気中や水中に漂っている有害物質が分解される前に通り過ぎてしまうことが多い。室内の様な微弱な光では触媒機能を発揮しない。と言った数々の欠点があり、その用途は非常に限られたものでした。これが従来の光触媒の欠点を画期的に克服し、さらに効果を進化させた新素材、それが二酸化チタンとアパタイトの複合体です

アパタイトは、骨や歯の主成分であり、歯磨き粉や食品などにも利用される無害かつ安全な物質です。又、大気浄化を目的としたフィルター等に使用されている様に、有害物質やアンモニア、細菌などの吸着力に非常に優れています。安全性及び吸着性の高いこのアパタイトをナノサイズの二酸化チタン表面にほぼ均一に析出させることによって、二酸化チタン単体の欠点を補うと同時に両者の優れた特性を引き出すことに成功したのです。

微量な光にも高度な分解能力を発揮し、塗料や繊維などの有機材料との混合もできる複合体 バイオトロンは従来の光触媒を超えた、全く新しいナノテクノロジー触媒です。

バイオトロンは、人と地球に優しい素材として多様な応用にて製品開発を迫及可能です。



バイオトロンの優れた特性

微弱な光量でも確実に分解

従来の光触媒は強く大きな光エネルギーを持つ紫外線にのみ依存していましたが、バイオトロンは屋内などの光量が弱い場所でも分解能力を発揮します。

光が当たらない夜間でも有害物を確実に吸着

二酸化チタンの表面に被覆されたアパタイトが夜間でも有害物質や細菌などを吸着し、光が当たる昼間に確実に分解します。

樹脂などの有機材料に直接混合できる

二酸化チタン単体は強い分解作用を持つため、有機材料との混合は不可能です。しかし、バイオトロンは二酸化チタンの表面に被覆したアパタイトが緩衝材として働き有機物と二酸化チタンとの接触を妨げるので、樹脂・塗料・繊維・有機系バインダーなどに直接混合できます。

効果は半永久的

アパタイトの吸着能力及び二酸化チタンの分解能力は半永久的に持続します。



バイオトロンとそのパワー

優れた効果を持ち、様々な分野に活用

洗 浄・除 菌	石けん・シャンプー・化粧水・入浴剤への添加
漂 白・美 白	漂白、美白効果があり、美容、化粧品への応用可能
紫外線・カット	紫外線カットの効果があり、UVカット商品の応用可能
空気浄化	シックハウス症候群の原因揮発性有機化合物 排気ガス(二酸化窒素)ダイオキシン・環境ホルモン
水質浄化	クーリングタワー・浴場・プールの殺菌、防黴、水質浄化
有害物質分解	4大悪臭(アンモニア・トリメチルアミン・メチルメルカプタン・硫化水素) タバコの臭い・果物や野菜の鮮度保持
殺 菌	大腸菌・MRSA・レジオネラ菌の細菌やインフルエンザのウイルスやペット が感染しやすいバルボウイルスの分解や食品などに発生するカビを不活化 ・除去する能力に優れ、殺菌・防カビ効果を有する
防 汚	大気中の土壌や自動車の排気ガスなどの汚れを分解し、雨水等によってセルフクリーニングする機能を持ち、外壁の防汚効果がある



光触媒バイオトロンマスク インフルエンザウイルスとは???

ウイルス1つの大きさは、10000分の1ミリ

サイコロ1個 1cm平方の箱に1,000,000,000,000個以上は入る
空気感染、飛沫感染できるという特徴を持つ (どこへでも!)

ウイルスは自分だけで数を増やすことができないため、他生物の細胞に侵入する。

その細胞を支配し数を増やす。(増殖作用)

支配された細胞のその殆どが死滅する。(感染作用)

感染すると高熱・喉の痛み・激しい咳の症状が出る。(発症)

生体反応

呼吸器細胞が殺されてしまうことによって出てくる症状



新型インフルエンザ[®]（H5N1型）の性質と脅威

- 新型インフルエンザ[®] は、20世紀中に3回出現しており、その都度世界的に大流行している。
- 1918年のスペイン風邪、1957年アジア風邪、1968年香港風邪の3つで人類は、10年～40年のサイクルで新型インフルエンザ[®] と遭遇。
- H5N1型インフルエンザ[®] は過去の3例よりも強毒で感染力が強いと予想している。
- スペイン風邪の被害（1918年）
世界人口18億人、感染者5億人以上、死者5000万人
日本でも45万人以上の死者が出た脅威の感染症
- この新型インフルエンザ[®] の流行は死者80万人以上の予想！
この感染パンデミックを如何に防御出来るか？対策急務！



新型インフルエンザ[®]・パンデ[®]ミック予測！！

局所感染でなく全身感染

- ・呼吸器だけに留まらず血液の中に侵入、様々な臓器へ感染し、細胞破壊し出血を伴う
- ・SARSに似た症状だが、平均3日間潜伏した後、まずは発熱38度以上で同時に強い倦怠感や関節痛を伴う。喉の痛み、鼻水、咳ははっきりしない場合が多い。
- ・その後、数日以内に息苦しさ、激しい咳、呼吸困難 急激に悪化する。
- ・全ての臓器に感染し、本来持っている抵抗力（生体防衛）が過剰に起こり、多臓器不全 鼻血、耳・目・歯茎からの出血、嘔吐、全身痙攣、意識障害 心不全（死亡）

感染者の致死率は 60%

- ・ニワトリが感染すると1日～2日でその100%が死に至る。
- ・人口100万人の都市では、5割の50万人が感染し、その6割30万人が死に至る。
- ・概に感染し死んだ人は世界で 250人いるが、あくまでも判明している数字

鳥インフルエンザ[®]の制圧は不可能 = 必ずパンデミック（大流行）となる

- ・1年で人類の100万年分の進化をする。（1日1個 1,000,000個に増殖）
- ・発展途上国などの情勢で不安定地域に発生した場合、封じ込めに失敗
- ・専門家が予想した以上のスピードで感染地域の拡大（グローバリズム）
- ・国連の予想：世界で 4億円の死者がでる。



日本に於ける新型インフルエンザ[®]への主な施策

パンデミックワクチン、プレパンデミックワクチンの製造

対象人数：1000万～1500万人

社会機能の維持や感染リスクの高い業務者を優先し混乱を防ぐ狙い
(医療従事者・警察・消防・政治家・教育現場等)

残り1億人以上は対象外。

全国民を対象とした不織布マスクの8週間分の備蓄(20～25枚/人)

全国民が対象

不織布マスクは海外からの輸入品が多いため、安定供給に問題視？

マスクをしたからと言って感染しない訳でない。

各地方自治体におけるタミフルの備蓄

人口の25%しか備蓄しかしていない。

新型インフルエンザにどれ程の効果があるのか解らない。

重症化を抑えて健康被害を軽減する？

副作用の危険性が大いにある！これも問題である。



製造会社紹介欄 特代理店紹介欄

製造会社（医療機器製造販売業）

東京都文京区本郷2丁目30-8

株式会社日本エーシーピー

連結会社【有限会社メディソレージャパン】

特約代理店（医療・福祉関連物販業）

福岡県北九州市八幡西区山寺町12-8-503

有限会社メディカル・ファクトリー

<http://www.medicalfactory.co.jp>

093-621-8710 , fax093-621-8704

e-mail amon@k4.dion.ne.jp